

報 望 槃 の 家

第46号

令和4年1月20日

発行：高知市春野町弘岡下2454-28

多機能型障害福祉サービス事業所・涅槃の家

TEL 088-894-5100

理事長：氏原 嗣志 管理者：大石 和成



ねはんの会年頭の挨拶 コロナに負けない協働活動

理事長 氏原 嗣志

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は涅槃の家に対しましてご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。昨年はコロナ禍の中で年間事業をやりたくとも出来ない、或いは縮小しての実施、保護者さんとの交流の場の提供が出来ない等々、色々な面で制約されての一年でありました。

また、長く共に過ごした利用者さんとの別れもありました。しかしながら、利用者さん、保護者の皆さん方に支えられて就労事業や生活介護事業が出来てきたことは感謝に堪えません。一方、このコロナ対策にも万全を期してまいりました。利用者さんの安心・安全に結びつくよう、送迎、事業所内での活動、諸事業での予防活動に積極的に取り組んできたところでありました。一部黄信号の部分もありましたが、無事に過ごせたのは喜ばしい限りでありました。

収束の時期は今のところ見えませんが引き続き、保護者の皆さんと連携を密にしながら、事業所活動にも最善の努力をしてまいりますのでよろしくお願ひ致します。

さて、法人ねはんの会の運営状況であります概ね計画どおりの進捗で推移を致しております。これもまたお礼を申し上げます。来期におきましても、このコロナ禍の状況の見通しが出来ない中での事業活動となります。間もなく三度目のワクチン接種も始まる為、今後の運営方針につきましても十分検討をしております所存です。今後とも変わらないご指導をお願い申し上げます年頭のご挨拶と致します。

新年あけまして おめでとーございます

管理者 大石 和成

月日の経つのは早いもので、早寅年を迎えることになり一年が駆け足で過ぎていきます。

昨年コロナ感染症対策に明け暮れた一年でした。十一月に入り少し落ち着いてきたようにも思いますが、まだまだ油断はできません。本年こそは、コロナ感染症が収束し、マスクを外して皆の笑顔を見ることが出来ればと思います。

さて、涅槃の家でもコロナ感染症の影響のため、一昨年と昨年は恒例行事が中止あるいは規模縮小で行われることになりました。二年もそういったことが続くと恒例行事を経験したことがない新しい職員が増えてきてしまい、加えて退職職員のノウハウが引き継がれることがないままに、職員の新陳代謝が起こり事業の継続が難しくなります。実を言うと私も盛大な花まつりを経験したことがあります。

令和四年は、新しいスタートとして多くの方に喜んでもらえるよう恒例行事をより盛大なものにしたいと思います。
本年もよろしくお願い致します。



らっきょう 定植



毎年恒例のらっきょう定植。今年度は職員と利用者さんのみで行いました。

小さな粒をひとつひとつ丁寧に「大きくなあれ」と思いを込めながらの植え付け。製品にする時は涅槃の家で採れた唐辛子を一緒に漬け込んでおり、例年通りおいしく仕上がっています。今年も立派ならっきょうに育ちますように。



甘蔗の伐採・黒糖作りを行いました。専用の鎌を使って器用に葉っぱを落とす方、そうして整えられた甘蔗を運ぶ方。自分たちの背より高く視界を覆うほどの甘蔗ですが、利用者さん達の連携の力であっという間にまっさらな畑になりました。

後日、野市にある製糖工場で搾って煮詰めて固めて砕いて、おいしい黒砂糖の完成です。「上等なお砂糖やね」とプロのお墨付きもいただきました。袋詰めが出来たらいよいよ販売です。沢山の人が涅槃の家の黒砂糖を食べて頂けるよう、道の駅等へ納品をしています。

製糖作業



秋の収穫祭・どんぐり創作



10月の土曜開所日にはお芋とどんぐりでおいしく楽しく、秋を満喫しました。

始めに、たくさんのどんぐりを使って「どんぐりごま」を製作。顔を描いたり模様を描いたり、オリジナルのごまが出来たら、いざ!回転チャレンジ!「誰のごまが1番長く回るかな? 逆に回しても回る!」白熱のごま回し大会になりました。

製作をしている間にお待ちかねの焼き芋の出来上がり。涅槃の家の畑で採れたお芋を焼き芋とふかし芋にして、秋空の下、みんなでおいしく頂きました。パチパチとはじける炎にこんがり焼きあがっていくお芋をみんなで窓に張り付くように覗き込み、焼きあがる様子も楽しみました。

遠足・佐川地質館



土曜開所日に、佐川の地質館へ遠足に。建物に入るとすぐ、目の前に現れた大きな動く恐竜に「大きい恐竜!」「すごいね!」と歓声があがりました。進んでいくと、大昔の生き物の化石や天然石などの展示や実際に入れる小さな鍾乳洞が。日頃、目にする事のない珍しい世界に皆さん興味津々でした。

第25回 スピリットアート展



〔絵〕

長谷川 詩乃
小松 未紀
山下 茂
堀川 結衣
上田 祥子

〔立体作品〕

種田 優子
生活介護班

入選

作品作りでは出展に向け利用者さん同士で話す方や念入りに構想を練る方、職員に「こんな風にしたいんだけど…」など相談する方も多く、個々の思いを形にしながら作品を完成させていきました。また、生活介護の利用者さんで、一枚ずつ厚紙にちぎり絵やスマイル顔など好きな模様を描き鱗作りをしました。出来上がったオリジナルの鱗を協力して貼り合わせて、たくさんの個性を寄せた背中が会場内を雄大に泳ぎました。

スイーツデコ作り



夏のスイーツデコ



冬のスイーツデコ



夏は涼しさ誘う「パフェ」作り！アイスやサクランボがおいしそうですね。冬は楽しいクリスマスを思いながら「サンタカップ」作り。苺やプリン等、カラフルなパーツを飾り付けた世界にひとつの品ができました。職員がひとつひとつ手作りした粘土のパーツ、皆さんから「かわいい！美味しそう！本物みたい！」と絶賛の声でした。食べられないのが残念です(笑)

演奏会



去年に引き続き、高知県沖縄三線愛好会さんにお越しいただきました。昨年よりもパワーアップした大迫力の音色に魅せられました。沖縄の楽しい曲に合わせて踊ったり歌ったり。皆一緒に「あっり乾杯！」😊

本当に楽しい時間をありがとうございました！



クリスマスツリーを自由にデコレーション。ラミネートをしてマグネットホワイトボードシートを張り付けて、ミニ伝言板の完成です。十人十色の作品が可愛くできました。

クリスマス会



それぞれが好きなデザインのシールや雑誌の切り抜きを持ち寄ってコラージュしたカレンダー作り、個性豊かに仕上がりました。ビンゴ大会ではあちこちで「リーチ！ビンゴ！」の声が飛び交い大盛り上がり。お昼にはサンタさんが来てくれシャンメリーで乾杯した後は、豪華なお弁当とケーキを食べてプレゼントもいただきました♪お腹も心も満たされたクリスマス会になりました。



今年もコロナの影響が続き、日々の作業は衛生面にとっても注意が必要でした。行事も以前より縮小されましたが、季節を感じられることや世界に一つだけの自分だけの作品作りなど沢山楽しみがありました。行事は当日はもちろん、当日までワクワクしながら待ち遠しく思う時間もまた一興。頑張るときはしっかりと頑張り、楽しむときは思い切り楽しむ皆さんの姿をお届けします。

日浦



ねはんの会 QRコード

編集後記

涅槃の家 高知

検索

ご厚意

(寄贈物品等八月〜十二月)

- 一、飲料水 ASA設計 田中健一様
- 二、食料品 小松建設様
- 三、飲料水 監事 岩崎昭頼様
- 四、金一封 (株) 須崎青果様
- 五、金一封 岡田幹雄様
- 六、金一封 長見勝次郎様
- 七、クリスマスプレゼント 高知信用金庫様
- 八、金一封 保護者会様

心温まるご厚意
ありがとうございました

